豊川保育園新聞　平成23年4月8日（金）発行　第461号

かがやき

4月

桜の花も満開！　子どもたちの笑顔もかがやいて、新しい23年度を迎えました。今年度も園だより『かがやき』を通して、子どもたちの様子をお伝えしたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

月曜日はあちこちから泣き声が聞こえ４月の始まり・・・と緊張感の中で職員もスタートしました。新入園児も一日一日と泣く時間も短くなり、少しずつ保育園が「安心できる場所」に変わりつつあります。進級児は新しいお部屋をまちがえたりしながらも、「自分の居場所」を見つけ、好きな遊びに興じています。どうぞ楽しみにやさしいまなざしで子どもたちを見守って頂きたいと思います。職員一同、皆様の子育てを一緒に楽しませてください。

主任保育士　　安倍

一年間よろしくお願いします

理事長　　宮地弘彦
園　長　　宮地憲子

・主任保育士
　安倍正子
・桃組担当
　中井智美
・さくらんぼ組担当
　笠田詩子
　雲山明子
・たんぽぽ組担当
　小袋ちえみ　畑迫弥生　宮地純子
・梅組担当
　徳永美和
・桜組担当
　河野幸希　濱田宗子
・つくしんぼ組担当
　安倍千晴（造形）
　廣﨑のぞみ
　畑知枝（補助）

・食育・給食担当
　貞池早苗
　中野好子

・お茶指導　（表千家教授）
　長野法子
・事　務　　磯邊 彩

保護者会役員紹介

会　長（梅）　永松広宣・千津子
副会長（梅）　北　久美
副会長（梅）　岡本律子
委　員（桃）　中尾元美
委　員（桜）　犬丸美紀

・森若万須雄（内科）
・池田信治（歯科）

4・5月行事予定

４月１日(金)　平成23年度保育はじめ
　２日(土)　平成23年度入園・進級式
　　保護者会会議
　８日(金)　花祭り（お釈迦様が生まれた日）
　13日(水)　小学校入学式
　15日(金)　バースデー訪問
　19日(火)　身体計測
　20日(水)　なかよしキャラバン
　21日(木)　体操教室
　23日(土)　保護者会総会
　　親子交通安全教室
　　親子遠足（運動公園）
　　保育士会研修会(AED,救命法)
　26日(火)　お茶教室
　　避難訓練
５月６日(金)　バースデー訪問
　７日(土)　礼　拝
　10日(火)　お茶教室
　18日(水)　なかよしキャラバン
　24日(火)　身体計測
　29日(日)　豊川小学校運動会
　31日(火)　避難訓練
　＊内科・歯科検診予定

うめぐみ

梅組になることを楽しみにしていた子どもたちは、嬉しさいっぱいの笑顔とちょっぴりの緊張！！
保育園の一番お兄さん、お姉さんになった重みを感じているようです。いろいろなことにチャレンジしながら、成長していく姿を保護者の方と一緒に見守り、楽しみにしていきたいと思います。　徳永

ももぐみ

男の子４人女の子８人合わせて12人の桃組さんは進級したことをとても喜び、やる気十分ではりきっています。

そんな一人一人の思いを受け止め、これからの一年間、いろいろな行事や体験を通して、十分自己発揮し輝いていけるよう、一日一日を大切に過ごしていきたいと思っています。　中井

さくらぐみ

男の子10人、女の子10人で元気いっぱいスタートした桜組さん！！新しく仲間入りした２人の友だちも、一緒に外遊びをしたり、絵本を見たり・・・少しずつお友だちとの生活になれてきたようです。

桜組になって楽しみにしていたランチルームでの食事！「お弁当、きょうも持ってきたんで！」と嬉しそうに手に持ってランチルームへ！お兄ちゃんお姉ちゃんになった気分で食事を楽しんでいます。

これから１つ１つ経験していく中で、心も体もぐーんと大きくなっていくことでしょう。今からとても楽しみです。　河野・濱田

総会・交通安全発会式・親子遠足

４月23日（土）９時30分から総会・交通安全教室・親子遠足を行います。

総会では、役員さんの紹介をはじめ、一年間の主な行事等を、交通安全教室では、親子でお話を聞き、親子遠足は、今年は役員会で運動公園に決まりましたので、そちらへ交通安全のルールを勉強しながら、行きたいと思います。また、お弁当を食べながら「一年間よろしく」の意味も込めて、いろいろな方とお知り合いになって頂きたいと思います。詳しくは、後日お知らせいたします。

暖かい春の日ざしに包まれて、固く閉じていた桜の蕾が花ひらきはじめた４月２日、豊川保育園の６０回目の新しい春（入園・進級）を迎えることができました。

初代園長が「戦後の混乱期、地域の方々の協力を得ながら、地域の保育園として開園することができた」と言っていました。多くの方々の協力と支援をいただいたおかげで、60年という歴史を刻んで来れたことを思い、感謝の心をこめた１年間でありがたいと思います。そんな節目の年に戦後とダブルようなことが３月11日東日本で起きたのです。地震による津波で無残に集落全体が流され、姿を変えてしまいました。自然の恵みを与えてくれる海があんなにも凄まじい勢いで一瞬にして、一人ひとりのかけがえのない人生といのちをうばい、人々の日々の平穏な生活をも奪い去ってしまったのです。

復興にむけて、再生する新たな一歩にしていくために、私たちが暮らしているこの街で、私たちができることを考え、行動し、被災地の方々と一緒にがんばっていけるよう、助けあい、支えあい、人の痛みを感じる「思いやりいっぱいの記念の年」でもありたいと思います。

『 60年目のおもい 』　　園長　　宮地憲子